

広報

にしあわくら  
9月





# 二十歳のつどい



8月15日(金)に二十歳の集いが行われました。  
村の二十歳の集いは県内で唯一夏に開催されます。  
今年は、18人の方が二十歳を迎えられ、  
式典には13人が出席し、近況や夢を語りました。



おめでとうございます!





**小林 美香**  
(こばやし みか)さん

- ① 今働いている職場で誰かのためにと頑張っています。
- ② 西栗倉の人はすっごくあたたかいです。



**青木 蓮**  
(あおき れん)さん

- ① 国家試験に向けて勉強中
- ② 水道水飲めるし実家の飯はうまい



**森下 陸史**  
(もりした りくし)さん

- ① 大学での経済学の勉強を頑張っています。
- ② 人と人との繋がりが強く、温かい地域だと感じました。



**國里 凌央**  
(くにさと りょう)さん

- ① 資格勉強
- ② 友人たちと遊んだこと



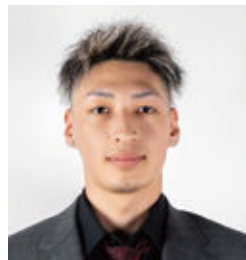
**金田 瑞騎**  
(かねだ みずき)さん

- ① 専門学校でゲーム製作を頑張っています
- ② 外の世界は広いと思いました



**福島 湊人**  
(ふくしま みなと)さん

- ① 大学で教育について学び教師を志しています。
- ② ふるさと元気ウォーキングで村の良さを感じたこと。



**井辺 大輝**  
(いんべ だいき)さん

- ① 仕事を頑張ってます。
- ② 自然が凄いです。



**萩原 愛海**  
(はぎはら なるみ)さん

- ① 姫路でダンスのインストラクターをやっています。
- ② チアを10年間続け、人に喜んでもらえた経験



**熊橋 未紗**  
(くまはし みさ)さん

- ① 大学で法律を学んでいます。
- ② 人数が少ないからこそ深い友情が築けたと思います。



**榎原 佑姫**  
(えばら ゆうき)さん

- ① 地球科学を学んでいます。
- ② 自転車通学が思い出に残っています。



**高木 陽菜**  
(たかき ひな)さん

- ① 大学で保育士になるための勉強をしています
- ② 西栗倉の人はすっごくあたたかいです



**熊本 あみ**  
(くもと あみ)さん

- ① 姫路でダンスのインストラクター
- ② 自然沢山で空気が美味しいところ



**中尾 芽生**  
(なかお めい)さん

- ① 国家試験に向けてWDとAWの練習を頑張っています
- ② 9年間楽しんだバレーボール



元気学習(2016年 撮影)



小学校入学式(2012年 撮影)



運動会(2020年 撮影)



立志式(2020年 撮影)



## わく太の図書館豆知識コーナー

あなたの読みたい本、あきらめないで！

図書館にほしい本がなかったら、「リクエスト」してみてね！ 県立図書館にある本も取り寄せできるよ。どうしても読みたい本があるときは、カウンターで気軽にスタッフに声をかけてね！



## ご利用案内

### 図書館のおやすみ 9月

15日(月・敬老の日)  
23日(火・秋分の日)  
29日(月・図書館整理日)

図書館の休館日：祝祭日、毎月最終月曜、年末年始

あわくら会館 開館時間 8:30 ～ 22:00

あわくら図書館 開館時間 10:00 ～ 18:00

あわくら会館のイベントの詳細は別紙チラシをご覧ください。

## 図書館の新刊案内

『仕事がうまく回り出す  
時間術のきほん』

平野 友朗／監修 ナツメ社



仕事の効率を上げたい人におすすめ。時間の使い方を見直す基本とコツをやさしく解説した一冊です。

● 一般書

『ビジネス教養としての競馬』

渡辺 隆裕／監修 日本能率協会  
マネジメントセンター



競馬を題材に、ビジネスに役立つ戦略思考や分析力を学べる一冊です。楽しみながら教養を深めたい方におすすめです。

● 一般書

『パズルと天気』

伊坂 幸太郎／著 PHP 研究所



天気まつわる不思議なできごとと、謎めいたパズルが交差する短編集。心地よい余韻が残る物語です。

● 一般書

『おおきなカエルティダリク』

加藤 チャコ／絵 福音館書店



カエルのティダリクが水を独り占めしてしまい、世界が困ることに。ユーモアの中に自然の大切さを描いた絵本です。

● 児童書

※書誌画像出典：TooLi（TRC 図書館流通センター）

お問い合わせ先 あわくら会館・図書館 TEL 0868-79-2116 教育委員会事務局 TEL0868-79-2216



▲7/29『夏のおはなし会』の様子(主催行事)

あつまる、つながる、やってみる、  
あわくら会館



## 主催行事

あわくら会館で「生きるを楽しむ」様子を紹介

笑って元気に！

介護エンターティナー

石田さんの笑顔あふれる講演会

7月26日(土)、百森ひろばにて「介護×笑いたくさん笑って介護予防」講演会を開催しました。講師は大阪府在住の介護エンターティナー・石田竜生さん。介護の現場経験と芸人としての話術を活かしたミニ講演に加え、笑いながら楽しく体を動かす体操も行われ、約90分間会場は笑顔と笑い声に包まれました。参加者からは「また来てほしい」「元気をもらった」との声が多く寄せられ、心も体もほぐれるひとときとなりました。



## 村民講師行事

壊れた器に、もう一度いのちを。  
はじめての金継ぎ体験会

7月27日(日)、「金継ぎ体験会」を開催しました。講師は大茅の上山奈穂さん。大切な陶器の欠けを直す伝統技法・金継ぎを、実際に手を動かしながら体験しました。陶器がない方には陶片を使った箸置きづくりも用意され、初めての方でも安心して参加できる内容でした。参加者からは「集中して心が落ち着いていた」「大切に使い続けたくなった」と好評で、ものを大切にする気持ちを再確認できる時間となりました。



▲ note



▲ Instagram  
イベント情報



▲ Facebook





## 保育園

『冷たくて気持ちいい!!』

今年の夏も冷たい水でたくさん遊びました。

手の平でばちばちやしたときの水面の動きや、どんどん溢れる水の流れに夢中の子どもたち。色水や氷にも触れて、不思議だなあ…なんかなあ…とたくさん感じてくれていたといいな。ボランティアのお兄ちゃんやお姉ちゃん、バンビにきているお子さんも一緒に楽しい時間を過ごしました。

## 幼稚園

「夏ならではの遊び楽しいね。」

今年は記録をぬりかえる酷暑となりましたが、子ども達は元気に夏ならではの遊びを楽しみました。地域の方々にお手伝いいただき塩谷での魚のつかみ取りや、小学校のプールをお借りして水遊びをしました。

つかみ取りでは地域の自然の中でゆったりと遊ぶ心地よさ、水の冷たさ、そして温かく見守ってくださる地域の方々のありがたさを感じました。

プールではフープをくぐったり、水中で友達とにらめっこしたりして遊んでいました。

酷暑の中、夏ならではの体験を思い切り楽しむことができるのも、西栗倉の大自然と地域のみなさまのおかげです。







## 中学校

### 森林の活用を考える取組

7月31日(木)にあわくらみらい学の一環として、3年生が県境付近のダルガ峰の森林でフィールドワークを行いました。このプログラムは株式会社百森、Nestにご協力いただいて、森の中で宝探しを行い、その体験をもとにして西粟倉が持っている森の資源を活用した企画を考えるというものです。生徒たちはグループに分かれて森の中を歩き、西粟倉の魅力の一つを再発見することができました。今後森林を活用するための企画を考え、百森さんに提案をします。

## 小学校

### 令和7年度第1回校内水泳記録会

昨年度までの「英北水泳記録会」に代わって、「校内水泳記録会」が、天候に恵まれた7月16日(水)に行われました。参加した5・6年生全員が、リレーを含む5種目に挑戦しました。喜ばしいことに、100m自由形では1分24秒7という素晴らしい新記録が生まれました。友達の声援を背に、全員が最後まで泳ぎ切れたことは、子どもたちの大きな自信となったことでしょう。





## 森林保全および地域活性化に関する協定締結

8月5日(火)に西栗倉村は西栗倉村は株式会社百森および一般社団法人more treesと、「森林保全および地域活性化に関する三者協定」を締結しました。more treesは、音楽家・坂本龍一氏が設立され、建築家・隈研吾氏が代表を務めています。「都市と森をつなぐ」ことを理念に、全国各地で森林保全や地域振興を行っている団体です。協定に先立ち、5月には三井住友カード様に協力いただき、影石谷にて植栽イベントを開催しました。多くの参加者とともに、森の未来を見据えた活動を実施しています。



【産業観光課】

今回の協定を通じて、森と都市、人と自然を結ぶ新たなつながりが生まれます。今後、三者の連携により、地域の魅力を活かした持続可能なむらづくりを進めてまいります。

## 企業版ふるさと納税で村を応援頂いた企業をご紹介します！

【株式会社太平エンジニアリング様(東京都)】

地域の光を魅せる取組推進事業(100年の森のホテル整備事業)に2年続けてご寄付を頂きました。

写真は、7月に紺綬褒章を後藤社長にお渡しした際のものとなります。

なお、紺綬褒章は、公益のために私財を寄付した個人団体に授与される国の褒章となります。



【株式会社メタルワン菱和様(岡山県倉敷市)】

林業の振興と森林の多様化と価値最大化事業に3年続けてご寄付を頂きました。

写真は、7月に行った感謝状贈呈式のものとなります。

年数回社員のみなさまが村を訪れての研修や交流など、村と継続的な関わりも創っていただいています。



【総務企画課】

## 森下幸明さん激励会

第19回全日本中学野球選手権大会東中国決勝大会で見事に優勝し、8月11日(月・祝)〜8月17日(日)に東京都で行われる硬式野球全国大会「第19回全日本中学野球選手権大会ジャイアンツカップ」に西栗倉中学校2年生の森下幸明さん(鳥取中央リトルシニア所属)が出場します。



【教育委員会】

8月6日(水)の全国大会前に、役場を訪れ激励会が行われました。役場職員の前で「初戦から強豪と対戦しますが、一つでも多く勝てるように頑張ります。」と決意表明をしました。

## 西岡源太さん激励会

鳥取県スポーツ少年団軟式野球交流大会で見事に優勝し、8月8日(金)〜8月11日(月・祝)に三重県で行われる軟式野球全国大会「エンジョイ!軟式野球フェスティバル2025」に西栗倉小学校3年生の西岡源太さん(宮ノ下スポーツ少年団所属)が5、6年生中心のチームにメンバー入りし、出場します。



【教育委員会】

8月5日(火)の全国大会前に、役場を訪れ激励会が行われました。青木村長から役場職員の前で激励金を受け取り、強い眼差しで頑張りますという決意表明をしました。



令和7年国勢調査を実施します

国勢調査は、我が国の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行われる国の最も重要な統計調査です。令和7年（2025年）に行われる調査は、大正9年（1920年）の第1回調査から105年、22回目にあたります。

国勢調査は、令和7年10月1日現在、日本に住むすべての人と世帯（外国人も含む）を対象としています。9月中旬から、調査員がみなさまのお宅を訪問します。

国勢調査の結果は、将来人口の推計や国から交付される地方交付税の算定などに活用されています。調査員がご自宅にうかがいましたらご協力の程よろしくをお願いします。

【回答方法】  
インターネット回答  
9月20日から回答可能  
郵送回収または調査員へ提出  
10月1日以降に投函または回収

【総務企画課】

農地法にかかる許可申請及び届出について

農地（田、畑等）の所有権を移転し、またはその他の権利を設定若しくは移転しようとするとき、あるいは農地の所有者自らが、農地以外（宅地、駐車場等）にするとき、または農地を農地以外のものにするため、その所有権を移転し、またはその他の権利を設定若しくは移転しようとするときは、農地法による許可または届出を得る必要があります。これらの手続きを経ずに農地転用等を行うことはできません。

該当になる場合は、下記の表を参考に西栗倉村農業委員会事務局まで提出してください。

| 目的                             | 内容                                 | 対象農地         | 農地法     | 種別 |
|--------------------------------|------------------------------------|--------------|---------|----|
| 耕作目的                           | 農地の売買、贈与、賃借等                       | 全農地          | 3条第1項   | 許可 |
| 相続等                            | 相続等による権利の取得                        | 全農地          | 3条の3第1項 | 届出 |
| 農地を農地以外のものにするとき                | 農地転用（宅地、駐車場等にする）                   | 農振農用地区域外（白地） | 4条第1項   | 許可 |
| 農地を農地以外のものに転用するため、権利を設定、移転するとき | 農地転用（宅地、駐車場等にするため、売買、贈与、賃借等の設定、移転） | 農振農用地区域外（白地） | 5条第1項   | 許可 |

※ 工事などで一時的に農地を利用（転用）する必要がある場合でも、農業委員会からの許可が必要です。計画の時点で、早めに各地区の農業委員へご相談ください。

※ また、各種手続きを行う前には、必ず各地区の農業委員会へご相談ください。

※ 農地に関わる規制として農業振興地域、農振農用地（青地）が設定されている場合があります。農振農用地（青地）は、農振農用地から除外してからでないと転用申請ができません。農振除外については産業観光課にお問い合わせください。

■西栗倉村農業委員名簿

| 地区  | 委員名    | 地区  | 委員名   |
|-----|--------|-----|-------|
| 大茅  | 上山 光重  | 別府  | 青木 英隆 |
| 坂根  | 田中 裕之  | 引谷  | 小椋 義宣 |
| 猪之部 | 井上 誠   | 中土居 | 春名 昌美 |
| 塩谷  | 新田 茂   | 下土居 | 春名 光博 |
| 谷口  | 政久 剛志  | 筏津  | 神原 秀吾 |
| 影石  | 萩原 眞壽雄 | 知社  | 清水 貴志 |

【産業観光課】

第37回村民ゲートボール大会

7月11日（金）に「第37回村民ゲートボール大会」が行われました。大会当日は、晴天の中はじまりましたが、途中で豪雨もあり、涼しい風も吹いて運動しやすい一日となりました。

各チームの選手たちは、日頃の練習の成果を発揮され、和気あいあいと熱戦が繰り広げられました。入賞したチームのみなさんおめでとうございます！



【教育委員会】

／ 結果 ／

優勝 影石チーム  
準優勝 筏津チーム  
第3位 チームグリーン  
第4位 大茅チーム



## 結核を正しく知ろう！

9月24日(水)～30日(火)は結核・呼吸器感染症予防月間です。  
勝英支所(美作市、勝央町、奈義町、西粟倉村)の結核罹患率はほぼ例年、全国や岡山県より上回っています。令和6年には7名が結核と診断されました。そのうち半数以上が65歳以上の高齢者です。  
結核は早期発見、早期治療で重症化や周囲への感染を防ぐことができます。



▲レントゲンを受けるシールぼうや

【こんなときは結核かも？】  
タンのからむ咳  
微熱や身体のだるさが2週間以上続く  
体重減少  
食欲がない  
寝汗にも注意

このような症状が続く場合は結核かもしれないので、早めに受診してください。

特に高齢者の場合、結核の症状が出にくいと言われているので、毎年、胸部X線検査を受けましょう！

## 【問い合わせ】

西粟倉村役場 保健福祉課

0868-79-2233

美作保健所勝英支所

0868-73-4054

## 9月、10月の2か月間は「行政相談月間」です 困ったら一人で悩まず行政相談

「行政相談月間」は、総務省が行政相談制度を広く国民の皆様にご利用していただくために、全国一斉に実施しているものです。  
この月間行事の一環として、西粟倉村では、行政相談委員の林正之さんが、次の日程で行政相談所を開設します。

国などの仕事やその手続、サービスについての困りごとやご意見、ご要望など、どんな小さなことでも結構ですのでお気軽にご相談ください。

相談は無料で、もちろん秘密は守られます。

## 【場所】

いきいきふれあいセンター

## 【問い合わせ】

西粟倉村役場 保健福祉課

(0868-79-2233)

なお、総務省岡山行政監視行政相談センターでは、年間を通じて、さまざまな方法(電話・FAX・メール等)でご相談を受けれています。

行政苦情110番

086-224-1100

FAX 086-221-5661

ホームページはこちらのQRコードから



【保健福祉課】

## 映像通報システムについて

映像通報システムとは、119番通報受付時などに、通報者のスマートフォンを利用して、火災、救急、救助などの現場映像を「指令センター」へ、リアルタイムで送信することができるシステムです。通報内容から指令センター員が必要と判断した場合に通報者へ協力をお願いします。

## 【できること】

災害現場の状況確認  
心肺蘇生法のやり方がわからない通報者へ、動画送信

## 【問い合わせ】

美作市消防署警防課

〒707-0024

美作市榎原下1100

☎0868-72-2603

## スマートフォン操作要領



① スマートフォンをスピーカー設定にしてください。



② 消防指令センターから届いたスマートフォンSMSにメールを開き、URLをタップしてください。



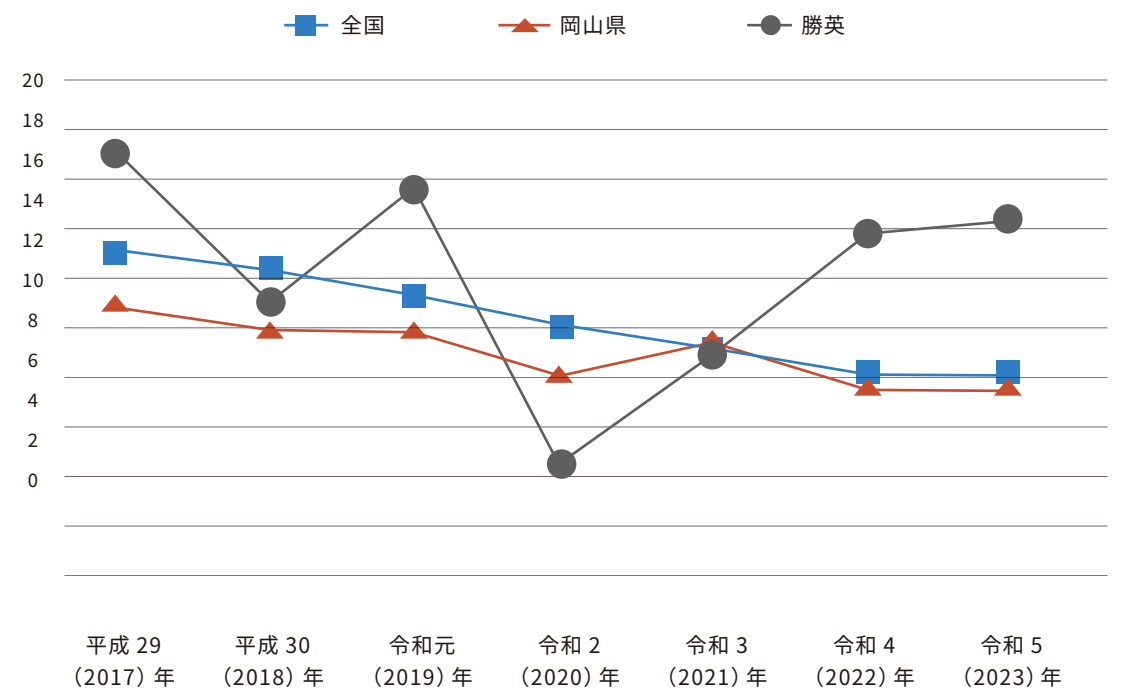
③ 注意事項の承認とカメラの許可をしてください。



④ 映像を見ながら応急手当の指導ができる応急手当動画の送信ができる。

## 結核罹患率の年次推移

人口 10 万人対



【保健福祉課】



## 私たちヘルスボランティア委員会です

私たちヘルスボランティア委員会は、「みんな元気、心と体の健康づくり ふれあいを喜びに、いきいきと生活できる地域づくり」をキャッチフレーズに活動しています。

7月10日(木)に小学校で、1・2年生を対象に食育活動を行いました。今年は、野菜をたくさん食べられるように、玉ねぎや人参、ピーマンと一緒に炊いたケチャップライス、玉子で包み、グリーンピース、人参、チーズなどを自由にトッピングしたオムライスボールを作りました。子どもたちの自由な発想に、驚かされ楽しい交流ができました。



【保健福祉課】

## 地区別意見交換会を開催します！

今年度の総合振興計画の改定にあたり、皆さまの想いをお聞きする場として、地区別意見交換会を開催します。

意見交換会は、村の将来や村への想いをワークシヨップ形式で職員と一緒に話し合う場として開催します。

ぜひ多くの方にご参加頂けますと幸いです。

### 【時期】

9月～12月の平日夜  
(各地区と調整のうえ、日程を決定します)

### 【場所】

各公民館にて開催を予定しています。

【総務企画課】

## 令和7年秋の交通安全県民運動

9月21日(日)から9月30日(火)までの10日間、令和7年秋の交通安全県民運動が県内一斉で行われます。

交通事故防止に向けて、ドライバーはもちろん、歩行者も、自転車利用者も、一人ひとりが交通事故のリスクを他人事ではなく自分のこととして強く認識し、交通ルールをしっかり守り、相手に対する「思いやり・ゆずり合い」の気持ちで交通マナーを実践し、交通事故を起こさない、また交通事故に遭わないように気を付けましょう。

### 【運動期間】

9月21日(日)～  
9月30日(火)

【総務企画課】

## おしえて年金

国民年金の加入手続き・保険料免除申請等の電子申請ができます

国民年金の加入手続き・保険料の免除・納付猶予申請・学生納付特例申請、保険料の口座振替手続きについては、オンラインで手続きができる「ねんきんネット」が便利です。また「ねんきんネット」をマイナポータルと連携すると、より簡単に利用できます。

連携するためには、①スマホ、②マイナンバーカード、③数字4桁のパスワードが必要です。

「ねんきんネット」では、通知をオンラインで受け取ることができ、年金記録なども好きな時に確認することができます。お手続きの際は、ぜひご利用ください。

★詳しくは、「ねんきんネット」で検索していただくか、ねんきんネット専用電話(0570-058-555)へ、その他年金の詳しいことについては、津山年金事務所(電話0868-31-2360)へお問い合わせください。

## 令和7年度西粟倉村福祉大会について

今年も、下記の日程で福祉大会を開催します。米寿をはじめ、村内でご活躍の高齢者のみなさまをお祝いさせていただきます。

なお、今年は小学校との相談の結果、平日に開催することとなりました。内容は、記念式典と余興を併せて、2時間程度を予定しています。

### 【送迎バス】

大茅方面は8時30分発の福祉バスをご利用ください。知社方面は引谷から順にマイクロバスで迎えに行きます。

自家用車でお越しの方は、小学校の校庭をご利用ください。

### 【日時】

10月3日(金)  
9時30分～11時30分頃

### 【会場】

西粟倉小学校体育館

### 【内容】

米寿、頌徳、老人クラブ連合会長賞等の表彰  
西粟倉小学校児童による合唱  
幼稚園児による踊り  
カラオケサークルによる歌唱

【保健福祉課】

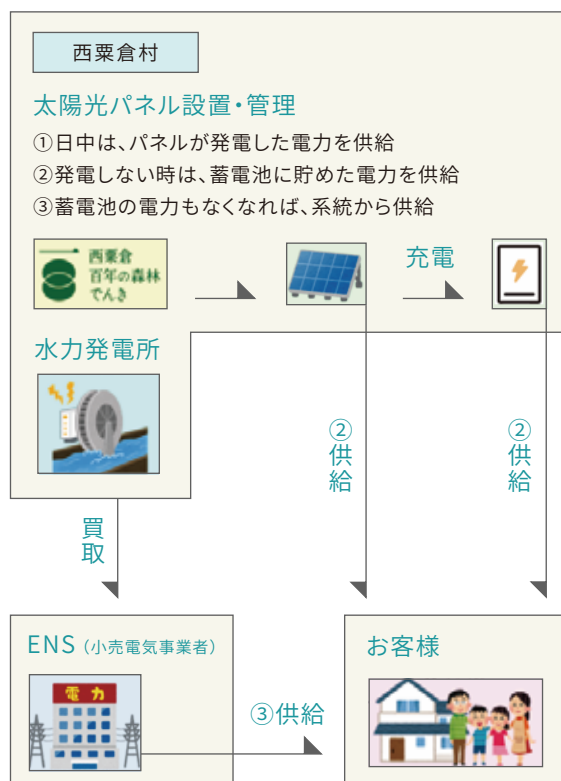


# 脱炭素先行地域 にしあわくら Vol.4

## 太陽光導入事業

西栗倉村では、脱炭素先行地域事業の一環として再生可能エネルギーの導入を進めており、特に設置がしやすく比較的成本も抑えられる太陽光発電を中心に展開しています。現在は地域新電力会社の百森でんきがPPA（電力購入契約）事業を活用し、公共施設に太陽光パネルを設置しています。設置や管理費用は百森でんきが負担し、施設側は通常より安価な電力を利用できる仕組みです。課題としては、

山間部特有の日照時間の短さによる発電効率の低下や、天候により発電量が不安定になる点が挙げられます。今後は村が直接設備を導入するのではなく、百森でんきのような地域企業と連携し、住民や地域の事業者への普及と活用を後押ししていく方針です。



# むらまると通信 vol.46

## 5周年シンポジウム

西栗倉むらまると通信研究所は、設立から5周年を迎えたことを記念し2日間のイベントを開催しました。1日目のシンポジウムでは、全国で活躍されている4名の専門家とともにむらまるとも実践している「多様な関係者が地域の暮らしの中で新しい取組みを試す活動・場Ⅱリビングラボ」の可能性について意見交換を行いました。2日目のフィールドワークでは、株式会社百森さんのご案内のもと、スマー

トフォンのアプリを使って地域の樹木の観察・記録を行いました。自然に親しみながら、好奇心を満たしつつ楽しくデータを集めることを体験できました。これまでの5年間の経験から「課題解決を目的に取り組む」だけではなく、「やってみたい」「知りたい」という気持ちが、新しい活動につながっていくと実感しています。今後も、みなさんの個々の好奇心を充たせる機会と場をともに創っていく法人を目指してまいります。



連絡先 090-4109-6500

# あわくら大学7月講座

## たくさん笑って介護予防

7月は、元お笑い芸人で介護福祉士の石田竜生さんを講師に迎え、「たくさん笑って介護予防」講座を開催しました。お笑い養成所での経験や劇団活動を活かし、ミニ講演と笑いと運動を組み合わせた体操を行いました。体操では、参加者は失敗も笑い合いながら楽しんでいました。講演では、引きこもりが介護に必要な原因であると話があり、外に出て友人と一緒に笑うことが

認知症予防や健康維持に重要だと学びました。あわくら大学は、健康で楽しく学びを続けるためにより良い講座を開催し、月一回の講座をみなさんが誘い合いながら参加できるようにしていきます。



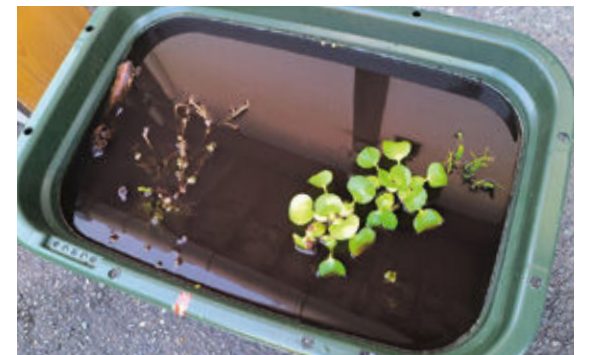
あわくら会館・図書館 副館長白岩将伍

# 特色ある教育通信

## ビオトープづくりへの挑戦

水系保全に関心のある小学6年生の児童の「やってみたい！」の社会教育活動「ビオトープを作ってみよう」について紹介します。どんな生き物を入れようかと調べながら、想像しながら案を組み立てていきました。どのように生き物を飼うことができるのか確かめたあと、いよいよビオトープの立ち上げです。まずは、ホームセンターへ必要なものを買ってえにいきます。大きな容器はどこ？水草はどれ？店員さんにも手伝って

もらいながら、お店の中を右往左往。買いたい物を無事にやり遂げると、エーゼログループに特別に許可をいただき、ビオ田んぼからメダカやドジョウなどの生き物をつかまえてきて、移し替えました。暑さで生き物が死んでしまうなどの想定外のこともありましたが「生き物の住む場所」を考えながら作り上げていきます。Pocketの駐車場にありますので、ぜひ覗いてみてください。



教育コーディネーター 福岡 要



社協だより

2025夏のボランティア体験事業

西粟倉村社協では、7月～8月の夏休み期間中、村内の高齢者施設・児童施設・ボランティアグループにご協力していただき、夏のボランティア体験事業を行いました。

この夏ボラは、福祉についての理解を深め、さまざまな出会いのなかから、新しい発見や「ともに生きていく」視点について考えることを目的としています。

今年は、村内外の小学生5名、中学生・高校生14名が参加してくれました。活動した生徒さんと受け入れ先にお話を聞きました。

西粟倉保育園

参加者 中学生4名 高校生1名

〔施設の方より〕初めて見る、お兄さん、お姉さんに恥ずかしそうにする子どももいましたが、「絵本読んで」「一緒に〇〇しよう」と嬉しそうに遊ぶ姿が微笑ましかったです。

社協事業 配食弁当

参加者 中学生4名

〔生徒さんより〕お弁当を作るのが楽しかった。料理をあまり作らないけど、一生懸命作った。美味しく食べてもらえたらうれしいです。



西粟倉幼稚園

参加者 中学生3名

〔生徒さんより〕先生たちが一人ひとりに合った関わりをされていてすごいと思った。

〔施設の方より〕この体験で得た学びを日頃の生活に役立ててほしいです。

放課後児童クラブげんきっこ

参加者 中学生5名

〔施設の方より〕子どもたちと楽しく丁寧に関わり、たくさん遊んでくれてとても感謝しています。ありがとうございました。

小規模多機能ホームひだまり

参加者 中学生2名

〔施設の方より〕 ころみ体験やレクお手伝い、ネイルケアをしてもらいました。楽しく体験ができた感想を頂きました。また、いつでも来てくださいね！利用者、職員、待っています！



小学生を対象に「自分にできるボランティア」を体験してもらうプログラムを今年初めて行いました！

8月8日(金) pocketで、使用済み切手を封筒やハガキから切り取る作業を行うボランティアに小学生5名が参加してくれました。

切り取った切手は、学校に行けない世界の子どもたちを助ける活動をしている『シャプラニール＝市民による海外協力の会』に送り、役立ててもらいました。

参加者からは、「もっと作業する時間があったらよかった」「また、やってみたいと思った。」などの感想を頂きました。



俳句

あわくら俳句教室

令和七年七月十九日

兼題・梅雨明・滴り・自由題

梅雨晴や泳いで見たき空の青  
県境の山滴りて迫り来る  
梅雨明や大の字に寝る昼下り  
遊歩道苔に滴る水音かな  
たんじょうびアトラクションとかき氷  
梅雨明の空の青さを使い切る  
母衣（ほろ）蚊帳の紅き縁取り懐かしき  
滴りの岩清らかに煌めけり  
栗の花一集落に香を放つ  
きゆうしよくにゼリーが出たよ夏の昼  
宍道湖の夕照長き晩夏かな

小坂康子  
小椋仁美  
乾沙織  
春名知子  
春名洋子（児童）  
小坂康子  
小椋仁美  
乾沙織  
春名知子  
春名洋子（児童）

選者吟

○毎月第三土曜日の午後一時三〇分からあわくら会館で活動しています。  
丁寧に指導しますので、初心者の方もぜひご参加ください。

川柳

栗の実川柳社 令和七年八月句会から

風  
笑う  
再会  
おしやれ  
自由吟

そよ吹く風ほほなでゆきて秋を待つ  
汗かいた首筋撫でる風優し  
いつ見てもあの人笑顔魅力的  
日焼けて元氣そのものの孫の顔  
横になり昼寝めざめし頭冴え  
工夫すりやおしゃれも楽しリサイクル  
誕生日お洒落な靴を買ってくれ  
しまなみの波は輝きバス旅行  
夏の空ひと雨もなく白き雲  
三人目出来たと言ってはにかんで  
ご先祖が猛暑の盆に驚かれ

建元 照子  
春名佳世子  
熊見まちこ  
清水 早苗  
新海 孝代  
熊見まちこ  
井上 吉男  
春名佳世子  
建元 照子  
清水 早苗  
井上 吉男

人の動き

■令和7年7月1日現在の動き

|     |            |
|-----|------------|
| 人口  | 1,300人（-1） |
| 男   | 616人（0）    |
| 女   | 684人（-1）   |
| 世帯数 | 597人（1）    |

| 7月中の移動 |    |
|--------|----|
| 出生     | 1人 |
| 死亡     | 0人 |
| 転入     | 2人 |
| 転出     | 4人 |

■お誕生おめでとう

うえだ めぐみ  
上田 巡海ちゃん（塩谷） 上田 篤史(父)  
7月12日 真里恵(母)



▲ 村民掲示板  
ページQRコード



【谷口、タタラ場と鹿】

山陰地方の歴史書には、よく鹿の妖怪が出たという記述がある。その所以はタタラ製鉄と関係があるとされている。木を伐り山を削る人間社会と、自然の畏怖の象徴、鹿の大妖怪。完全にジ〇リである。また、西粟倉じゃ運転中に鹿をみかけるのはマンネリ化した恋人の既読無視よりも多いが、ある日谷口のあたりでそれは大きな角を持つ立派な鹿と遭遇したことがある。有名なところは大茅かもしれないが、谷口にもタタラ場の守護神、金谷児神の社があるそうだ。人間と自然が闘っていた跡地。現代ではまた、彼らは命懸けで車の修理費を人間に出させ、復讐を果たしているのかもしれない。



# 村民紹介リレー

「生きるを楽しむ」  
西栗倉村の人々を  
友達紹介リレーで  
インタビュー！



pick 01

岡田 和也さん  
Kazuya Okada  
年齢：37  
所属：『岡田林業』

今月のテーマ

「子どもが村にワクワクできる場が欲しい」

岡田さんは37歳で、家業の林業を継ぐ優しいお父さんです。大阪でスポーツトレーナーを目指したものの、春休みに木を伐る作業を手伝って外仕事の魅力に惹かれ、実家に戻りました。

暑さや寒さと向き合う過酷な仕事ですが、山から木を伐り出し自然の中で働く喜びは大きく、かつては村が過疎化しつつも最近は活気が戻ってきたと感じているそうです。

消防団や夏祭りにも参加し地域を支える傍ら、休日には5歳と8歳の子どもと一緒にキャンプや川遊びを楽しみ、山と川に囲まれた環境での子育てに満足しています。娯楽施設が少なく、子どもが都会に憧れることもあります。が、村にワクワクできる遊び場や新しい取り組みが増えることを楽しみにしており、自然と共に暮らす幸せを語ってくれました。



西栗倉村役場  
電話番号

総務企画課 0868-79-2111  
出納室 0868-79-2113  
保健福祉課 0868-79-2233  
産業観光課 0868-79-2230

建設課 0868-79-2231  
教育委員会 0868-79-2216  
診療所 0868-79-2220  
FAX 0868-79-2125

各記事の内容についてのご意見・ご質問は、各課までお問合せください。

広報  
令和7年9月号  
No. 748

発行 〒707-0503 岡山県英田郡西栗倉村影石33-1  
西栗倉村役場 総務企画課  
TEL 0868-79-2111 FAX 0868-79-2125  
印刷(資) 谷本弘輝堂



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と森林の再生に取り組む岡山県西栗倉村との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与する紙一」を使用しています